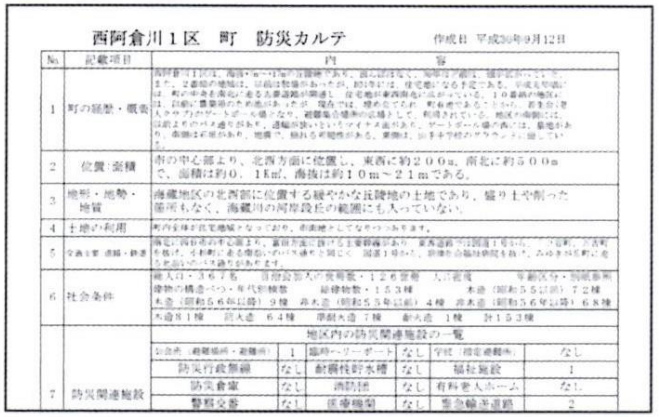
防災カルテを作成しました ー海蔵地区防災会ー

海蔵地区防災会では、昨年度作成した防災カルテ図を活用しながら、災害時どこが危険なのかを確認し、災害予測等をまとめた防災カルテを作成しました。

防災カルテ 今年度作成



西阿倉川１区　町　防災カルテ　　作成日 平成30年9月12日

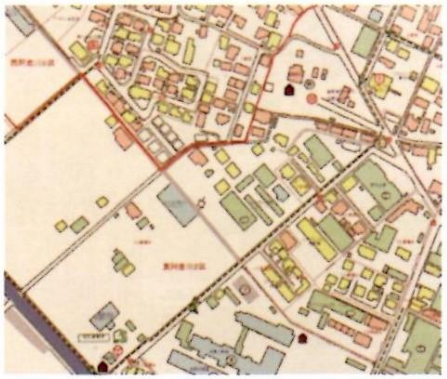
No.	記載項目	内　容
1	町の範囲・概要	西阿倉川１区は、海抜0ｍ～21ｍの台地部であり、国土防災など、地形等が複雑に、建物が点在している。また、２番地の地域は、以前は数棟のみであったが、現在には、住宅地になる予定である。平成５年頃には、町の中央を南北に走る幹線道路が開通し、住宅地が東西両側に広がっている。１０番地の地区には、以前に農業用のため池があったが、現在では、埋め立てられ、町有地となっており、若者会が入会の方がゲートボール場として、利用されている。地区の南側には、以前よりの川が通っており、増幅時期というゲリラ豪雨があり、ゲートボール場の為には、警報があり、危険な状態があり、地震で、崩れる可能性がある。裏側は、山手学校のグラウンドに接している。
2	位置・面積	市の中心部より、北西方面に位置し、東西に約２００ｍ、南北に約５００ｍで、面積は約0．1ｋ㎡、海抜は約１０ｍ～２１ｍである。
3	地形・地勢・地質	海蔵地区の北西部に位置する緩やかな丘陵地の土地であり、盛り土や削った箇所もなく、海蔵川の河岸段丘の範囲にも入っていない。
4	土地の利用	町内全体が住宅地域となっており、市街地としてなっている。
5	交通主要　道路・鉄道	海蔵川周辺の中心部より、富田方面に抜ける主要幹線があり、東海道約１号国道１号線、１号町、１号町を抜け、小林町にある幹線にぶつかる通りと同じく、国道１号から、鉄道を合流時間も抜け、みゆき町町にある名古屋にへと通じております。
6	社会条件	総人口・３６７名　　自治会加入の世帯数・１２６世帯　　人口密度　　等級区分・別紙参照 建物の構造・つい・年代別棟数　　総建物数・１５３棟　　木造（昭和５５以前）７２棟 木造（昭和５６年以降）９棟　非木造（昭和５５年以前）４棟　非木造（昭和５６年以降）１６８棟 木造８１棟　防火造　６４棟　準耐火造７棟　耐火造　１棟　計１５３棟
7	防災関連施設	地区内の防災関連施設の一覧 公共・避難場所・避難所 1 / 臨時ヘリポート なし / 学校（指定避難所） なし 防災行政無線 なし / 耐震性貯水槽 なし / 福祉施設 1 防災倉庫 なし / 消防団 なし / 有料老人ホーム なし 警察交番 なし / 医療機関 なし / 重要幹線道路 2

自治会の状況に合わせて作成された、左の防災カルテには、標高や防災関連施設など、様々な情報がまとめられています。

今年度は、自治会ごとの防災訓練の一環として、この防災カルテについて考えあう場を設け、たくさんの人に参加していただきました。

防災カルテ図 昨年度作成

火災発生時の延焼危険度を把握するために、建物の構造（木造・防火・準耐火・耐火）を調査しました。



今後も、災害予測等の情報を共有し、災害時の被害を小さくするために、具体的な対処等の検討が引き続き必要です。地域の皆さんのご協力をよろしくお願いします。